

基山町が認定を受けた地域再生計画

番号	都道府県	作成主体名 (地方公共団体名)	地域再生計画の区域	地域再生計画の名称	地域再生計画の概要	活用する支援措置	計画本文(外部リンク)
1	佐賀県	佐賀県三養基郡基山町	佐賀県三養基郡 基山町の全域	多世代希望のまち基山プロジェクト	基山町の総人口は2000年をピークに減少に転じている。そこで都市圏在住のアクティブシニアや子育て・若者世代の移住定住を促進する施策を実施するとともに、町内在住の高齢者世帯に対しては、町内中心部への住み替えを推進し、アクティブシニアへ活躍の場を提供し生きがいづくりの創出を図りながら多世代交流を目指し、さらに子育て環境充実のための施策を一体的に実施することで、多世代にわたって希望を感じるまちづくりの好循環を図る。	地方創生推進交付金	計画本文
2	佐賀県	佐賀県三養基郡基山町	佐賀県三養基郡 基山町の全域	多世代交流拠点整備プロジェクト	基山町の合計特殊出生率(H20～H24)は1.25と低く、今後高齢化が急激に進行することが予想される。そのため、子育て支援、高齢者支援施策が急務となっている。そのため、既存の福祉施設「老人憩の家」を全面改修し、多世代の交流拠点として整備することで、各世代の孤立化を防止し、世代間交流事業の契機となる取組を促進する。そして、誰もが活躍できるまちづくりの拠点として、民俗芸能、地域文化の継承を図り、まちの活力と人財の創生をめざす。	地方創生拠点整備交付金	計画本文
3	佐賀県	佐賀県及び 佐賀県三養基郡基山町	佐賀県三養基郡 基山町の全域	基山町の発展に向けた交通ネットワークの整備	基山町は、九州自動車道が縦断し、高速バス停を有する基山PA、国道3号など幹線道路が整備されており、福岡都市圏からのアクセスは容易である。しかし、幹線町道網が脆弱であり、森林の多面的機能の荒廃や災害時の集落孤立の危惧不安もある。そこで、町の基幹道路や林道の道路拡幅等を行うことにより、効率的な道路網を構築する。それによって、地域の豊富な観光資源がネットワーク化され商工業の発展を推進するとともに、林業の振興を図っていく。また、住民の利便性の向上や災害時の孤立への不安を解消する。	地方創生道整備推進交付金	計画本文
4	佐賀県	佐賀県三養基郡基山町	佐賀県三養基郡 基山町の全域	基山ダブルジビエ活用プロジェクト	基山町では農家の高齢化と後継者不足に伴い、耕作放棄地の拡大防止対策や鳥獣による農作物の被害対策が喫緊の課題となっている。既に実施している耕作放棄地解消のためのエミューの飼育や農作物被害対策のためのイノシシの捕獲等の取組みの先に、それらの肉等を「ダブルジビエ」として利活用する連携体制を構築する。駆除・飼育からと畜・捕殺の後、食肉処理を経て、一般消費者・観光客へ精肉の提供を行い、また町内飲食店等と連携した新しいメニューの開発など地域産業振興と観光振興による広範な地域活性化を目指す。	まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例(地方創生応援税制)	計画本文
5	佐賀県	佐賀県三養基郡基山町	佐賀県三養基郡 基山町の全域	基山町合宿所整備プロジェクト	基山町のアクセスの良さを活かし、町内の体育施設及び文化施設では、地域住民のスポーツ振興や健康増進の取組みはもとより、様々なスポーツ種目の九州大会等が開催されるなど広域的な利用が進んでいる。一方で基山町を通過点から交流拠点にすることを目指して、訪れた参加者等が町内に滞在し、地元文化に触れ、交流し、地元の食を味わうなど、町の良さを満喫してもらうため、町内に宿泊機能を備えた合宿所を整備し、まちのスポーツ振興とともに町民総意のおもてなし体制の構築やまちの活性化を図る。	まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例(地方創生応援税制)	計画本文
6	佐賀県	佐賀県三養基郡基山町	佐賀県三養基郡 基山町の全域	きやまRESASデジタルアカデミー事業	基山町では平成28年4月に基山町立図書館を新設し、多世代が集うアカデミックサロンとして活用し、地域情報拠点かつ交流拠点としての機能の充実を目指している。地方創生実現に向けて提供されるRESAS(地域経済分析システム)にて、ビックデータを活用した情報の収集と地域課題を分析・解決のための方策を町民が提案する機会を創出し、地域住民のスキルの向上を図る。またIT活用人材育成を促進するなど、創業者支援、地域経済の活性化を見据えた魅力ある町として、若者の定住促進を図るとともに移住者の定住促進を目指す。	まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例(地方創生応援税制)	計画本文
7	佐賀県	佐賀県三養基郡基山町	佐賀県三養基郡 基山町の全域	基山草スキー再生プロジェクト	基山町には、古代史に書かれた日本最古の朝鮮式山城「基肄城」を有する基山(きざん)があり、基山町史には、九州随一のローンスキー場と記されている。しかし、歴史と観光名所として知られた基山・基肄城・基山草スキー場も近年では訪れる人が激減しており、折角の資源が有効に生かされていない状況である。昨年の基肄城築造1350年事業の一環として行った「草守基肄(くさすきい)大会」では、昔を知る人から懐かしさとともに再興を求める声が多かった。そこで、「草守基肄世界大会」を開催を通じ草スキーの再興を図る。	まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例(地方創生応援税制)	計画本文

8	佐賀県	佐賀県三養基郡基山町	佐賀県三養基郡基山町の全域	宿泊機能のネットワーク化に向けた拠点施設の整備プロジェクト	基山町は県内屈指の文化施設、体育施設を有しており、立地的な利便性を活かして、文化、スポーツ、観光の取り組みを行い、交流人口の増加を図っているが、町内には宿泊施設が無いために来訪者の滞在時間をのばせず、経済効果を生み出せない状況にある。今回、多様な宿泊ニーズに応えるため、基山町宿泊研修センター（仮称）を建設し、当該施設を拠点に宿泊研修サービスの安定供給を図るネットワークを構築し、滞在型文化・スポーツの振興とともに農業、商業、サービス業や観光業との一体的な地域経済効果の向上を目指す。	地方創生拠点整備交付金	計画本文
9	佐賀県	佐賀県三養基郡基山町	佐賀県三養基郡基山町の全域	基山町ブランド化推進事業～小さくてもキラリと光る町へ～	基山町は、福岡県に隣接する佐賀県の東の玄関口で、非常に立地に恵まれており、九州内交通の基幹となる国道3号やJR鹿児島本線、高速バス停など九州の陸上交通の要衝地である。しかしながら、町の印象が弱く、特色が少ないということもあり、人口減少が続いている。このため、町のイメージづくり、ブランド化が課題となっている。そのため、本町で可能性が出てきている取り組みにブラッシュアップをかけて、ブランドの確立により小さくてもキラリと光る町づくりを目指す。	地方創生推進交付金	計画本文
10	佐賀県	佐賀県三養基郡基山町	佐賀県三養基郡基山町の全域	町のハローワーク機能向上プロジェクト～「食」の拠点づくりで雇用創造～	基山町は、労働人口の流出や高齢化等による労働者不足が顕著となっており、若い世代の人材確保のため、新たな産業分野の育成が必要である。町内企業への若者の就職を促進するため、食品産業を重点分野に設定し、地域の関係機関やハローワーク鳥栖と連携して、地元事業者と地域資源を繋ぐ役割を担う人材育成に取組み、地域資源活用セミナー等の事業を実施し、雇用の創出を目指す。また町、商工会、地元金融機関で構成する基山町地域雇用創造協議会を受け皿として、地元の商工業者や農業者への波及を図る。	実践型地域雇用創造事業	計画本文
11	佐賀県	佐賀県三養基郡基山町	佐賀県三養基郡基山町の全域	基山スマートウェルネス事業～コンパクトに暮らそう健康のまち～	基山町では、昭和30～40年代の大規模住宅開発により転入した住民の高齢化が一斉に進み、特に一人暮らしの高齢者世帯の増加が課題であり、地域住民の健康増進と孤立化の防止や活躍の場づくりが求められている。このようななか地域住民全体の健康増進を図りつつ、生活のための機能がコンパクトに集約された町の中心市街地を有効に活用し人々がまちなかへ出かけるための動機づけや地域住民が集う場づくりと、多世代の交流をとおして人と人とのコミュニティを再生することを通して、健康長寿社会（＝健康のまちづくり）の実現を図る。	地方創生推進交付金	計画本文
12	佐賀県	佐賀県三養基郡基山町	佐賀県三養基郡基山町の全域	基山町版ハローワークと連携した子育て就労支援施設「基山っ子未来館（仮称）」整備事業	地域の子育て世代の働く力を引出し、その力を事業者の生産性革命に繋げるため、誰もが気軽に訪れることができる子育て就労支援施設「基山っ子未来館（仮称）」を整備する。基山っ子未来館では、基山町版ハローワーク制度と連携した就労支援やマッチングを展開し、中堅・中小・小規模事業者等が主体となった就労セミナーや復職研修などを実施する。ひとり親や母親等のスキルアップや多様な働き方、新規創業を推進し、雇用創出や生産額の向上、地域住民の所得向上や生活の安定を図りワークライフバランスの向上を目指す。	地方創生拠点整備交付金	計画本文
13	佐賀県	佐賀県三養基郡基山町	佐賀県三養基郡基山町の全域	歴史・伝統文化資源を活用した体験型サービス&地域の担い手創出事業～特別な一日の体験から魅力ある地域へ～	基山町は、地勢にも恵まれ豊富な地域資源があるにもかかわらず、それらが十分に周知され活用されていないため、素通りの町としての扱いしか受けていない。この事業で、町と協力して魅力を発信する意欲がある神社仏閣の関係者や活性化を図るためグループ化の動きがある基山町の職人らが連携して「基山町伝統文化おもてなし協議会（仮称）」を設立し、当該協議会が束ね役となり基山町の歴史や伝統文化を体験型集客サービスとして、体験ツアーを企画するなど、新たな集客サービスを自らが創出していく仕組みを構築する。	地方創生推進交付金	計画本文